

事業名 漁業調整指導費
細事業名 水面総合利用調整推進事業費
財務コード 048503
担当部課室 農政部 部 花き農水産 課 水産 担当 (内線) 5317

調書番号 90

I 事業の概要

実施期間 初期 H9 年度 ~ 終期 年度
実施主体 県(直営)
目的 だれ(何)を対象に 遊漁者及び漁協
その対象をどのような状態にして 良好な漁場環境の維持に必要な正しい情報や知識を習得している
結果、何に結びつけるのか 良好な漁場環境の維持向上
内容 ○事業概要 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づき、良好な漁場環境の維持向上のため、遊漁者や地元漁協へのヒアリング等を行い、漁場利用調整の実施・指導を図るとともに、水産動植物に悪影響を及ぼす外来魚の移植防止の啓発を行う。
○事業内容
・漁場利用調整・指導 (漁業公共事業連絡会議の開催、外来魚密放流等防止啓発用クリアファイルを作成し、漁協等へ配布) 連絡会議開催2回(76名参加) クリアファイル2,300部
・漁場利用等実態調査 (オオクチバス漁場管理対策協議会の開催等) 対策協議会開催1回(17名参加)
・関係者意向調査 (漁場監視員講習会の開催による地元漁協等の意向調査) 講習会6回実施(240名参加)

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

Table with columns: 区分, 指標, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 31年度. Rows include activity indicators (e.g., 広報資料作成) and result indicators (e.g., 広報資料提供) with target and actual performance data.

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

Table for performance evaluation with columns for activity and result indicators and their evaluation scores (e.g., b).

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補正する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

Table for improvement needs with columns for necessity, effectiveness, and reviewability. Includes checkboxes for high, moderate, and low necessity, and sections for stakeholder involvement, effectiveness, reviewability, and other considerations.

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

Table for review direction with columns for current status and explanation.

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。